

事業所名 望あゆみ野大古曾（児童発達支援）

支援プログラム

作成日

7年

1月

10日

法人（事業所）理念		子どもからお年寄りまでが立場を超えてささえあい生きる喜びに満ちた愛が循環する社会を目指します。							
支援方針		児童発達支援事業では、日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、並びに集団生活に適應することができるよう利用児の意向、適性、障がいの特性その他の事情を踏まえて、利用児に対してその人格を尊重し、常に利用児の立場に立った福祉サービスの提供に努めます。 また、関係法令を遵守し、他の社会資源との連携を図った適正、且つ、きめの細かい支援を行います。							
営業時間		(平日)	9時	0分から	17時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・日々のバイタルサインや全身状態の観察を通じて、様子を把握し共有します。 ・心と体をリラックスできる環境を作っていきます。 ・座位や可能であれば、立位をキープしながら、マッサージや手遊びを通じてなど快の刺激を感じたり、日常的な遊びや運動を通じて、自ら手を伸ばしたい、見たい等自発的な気持ちを育てることで安全で無理なく、体の変形や拘縮を予防します 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・視線入力でゲームをして、的に当たると振動を感じる機器などにより、動作と揺れが繋がっていること、自分の更衣が揺れに繋がっている感覚を感じる。医師の指示の下、理学療法士や作業療法士による歩行訓練や運動を行う。自発的に動くのが難しい子の場合、他動的にでも大きく動かすことができる。運動や振動の刺激の体験によって「身体意識」を育てていきます。 ・子ども自ら腕を伸ばすような運動を取り入れた活動をおこなうことで、楽しみながら安全に、自発的な動きを引き出していきます。 ・歩行訓練や運動は、その時の子どもの表情や仕草など、よく観察しながら活動をおこない、一人一人に合った支援の方法で活動を提供します。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しいことや好きなことをベースとして、五感に働きかける活動の企画、提供をします。様々な体験から身体運動、感覚機能、認知機能の発達を促します。 							
	言語 コミュニケーション	(コミュニケーション土台づくり) 見る・聴く・触る・揺れるなどの遊びを経験し、自分の外からの刺激に慣れていけるようにします。人とのやり取り、遊びを通して人への意識を高めていきます。声や動きを通しての発信を受け止め、発信する力を強めていきます。玩具や絵本、写真などを通して遊びや興味の幅を広げていきます。							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・職員とたくさん触れあい、声掛けをしていくことで信頼関係を構築できるように支援をしていきます。 ・お友達の輪の中で過ごし、お友達を意識できるように支援をしていきます。 							
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士、子育ての喜びや悩み、これからの見通しなど希望があれば、思いを共有する場を作っていきます。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・就学に向けての関係機関との情報共有を行います。 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の気持ちに寄り添いながら、病院や並行通園先の幼稚園・保育園の先生、訪問リハや在宅医などの関係機関と連携し、地域の中で安心して暮らせるように支援をしていきます。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止に関する研修 ・感染症に関する研修および訓練 ・安全管理に関する研修（事故防止、応急手当、防犯等） ・発達に関する研修（外部研修・内部研修） 		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・誕生日会、夏祭り、クリスマス会、季節の制作、視線入力の大会等 							